

## 1 令和2年度の取組

### (1) 業務連絡会の実施状況

#### ア 第1回の実施状況について

開催日時 場所	内容	参加状況
令和2年 11月21日～11月30日 YouTubeによる配信	「訪問看護のための子供のリハビリテーション」 ～ 対称的な姿勢コントロールの支援を中心に～ (講演、実技デモ) 訪問看護ステーションくれよん リハビリテーション部長 佐野 聖子 (作業療法士)	訪問看護ステーション 108名 15事業所 その他 18名 2事業所

#### イ 実施後アンケート調査

設 問	回 答
これまでに連絡会に参加したことがあるか	初めて101名/以前にも参加したことがある12名/無回答1名
小児看護の経験	あり104名/なし10名
医療的ケア児の訪問看護に興味があるか	ある108名/ない5名/どちらともいえない1名
学びたい内容 (多い順から3つを掲載)	・姿勢保持の仕方や工夫 ・小児リハビリの見地 ・小児の訪問看護に関する知識
学びたいことは学べたか	はい98名/いいえ1名/どちらともいえない4名
研修内容について	分かりやすかった110名/わかりにくかった0名/どちらともいえない4名
医療的ケア児の訪問に興味を持てたか	はい105名/いいえ1名/どちらともいえない7名/未回答1名
今後、医療的ケア児に関わりたいと思ったか	はい95名/いいえ2名/どちらともいえない/15名/未回答2名

ウ 第2回の実施状況について

開催日時 場所	内容	参加状況
令和3年 3月4日～3月18日 YouTubeによる配信	講演「いつもと違うと気づいたら、その次 は！！」～急変時の判断と対応 あなたなら どうする？～ 鈴木小児科内科医院 副院長 鈴木 理永 医師	52名 10事業所

エ 実施後アンケート結果

設 問	回 答
小児看護経験はあるか	ある 24名 内訳：1年未満1名 1～5年13名 6～10年5名 11年～15年2名 15年以上3名 ない 28名
医療的ケア児の看護や 訪問の経験があるか	ある 31名 内訳：1年未満 3名 1～5年 16名 6年～10年6名 11年～15年3名 15年以上3名 ない 21名
医療的ケア児の看護に 関わる際に小児の看護 の経験は必要と思うか	思う 37名 ・成人と小児は別物、状態の変化もかわり方も違う ・家族に的確なアドバイスができる自信がない ・わからないケアがある 思わない 9名 ・経験のある看護師の同行・サポートがあればできる ・小児の病態や観察項目を理解すれば成人と同じと思う ・多様性に対応する知識経験を本人家族と共に重ね向上 して行けると思う
今後小児の看護をして みたいと思うか	はい 25名／いいえ 5名／すでに行っている 18名 どちらとも言えない：カニューレを直接扱うことができないため（リハ 職）
学びたいことは学べた か	はい 47名 ・実際の場面の再現でとてもわかりやすかった ・急変時の対応、家族への声掛けが学べた ・診るべきポイント、評価すべきポイントがわかった ・必要な知識、技術がわかった いいえ 2名 ・看護師ではなくてはできない処置だったため（PT）
役に立ったか	はい 47名 ・実演があり急変時の流れがイメージしやすかった ・小児だけでなく成人にも役立つ内容だった

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の準備の必要性が確認できた</li> <li>・ 慌てず行うことが必要と思った</li> <li>・ 呼吸器を装着しての入浴、カニューレ抜去がガーゼで見えない事故に対する改善点の紹介が良かった</li> <li>・ EC テクニックの方法と注意点が参考になった</li> </ul>
内容はわかりやすかったか	<p>はい 47 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドや映像、シミュレーションで実際の動作がわかった</li> <li>・ 基本的な V/S から緊急時の評価ポイントがわかった</li> </ul>
配信時間、講義時間は適当だったか	<p>配信期間：長い 0 名 / ちょうどよい 44 名 / 短い 5 名 1 か月ぐらいほしい</p> <p>講義時間：長い 4 名 / ちょうどよい 44 名 / 短い 0 名 1 回 30 分ぐらいで 2 本縦とかが良い</p>
緊急時の実技を学ぶ実習があったら参加してみたいか	<p>はい 40 名 / いいえ 6 名</p> <p>※看護師以外の職種でもできる内容であれば参加したい</p>
実際に急変時に関わる状況に遭遇したことがあれば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーチカニューレ、スピーチバルブ装着時おやつを食べさせていたら SAT が低下した</li> <li>・ 呼吸状態不安定で SAT50 台にて MCS（多職種連携ツール）で医師関係者に報告した</li> </ul>
その他ご感想、要望等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスの講義もあってよかった</li> <li>・ 配信で学ぶことができ良かった</li> <li>・ リアルでわかりやすくデモンストレーションが参考になった。</li> <li>・ 普段から急変時を意識して訪問するよう心掛けたいと改めて思った</li> <li>・ 在宅での呼吸器の取扱い、回路交換についてやってほしい</li> <li>・ 実際の事例と対処方法の講義を聴きたい</li> <li>・ ベテラン医師や看護師でも焦ることがあると聴いてほっとした。できる限り自分を落ち着かせて対応に当たっていきたいと思った</li> <li>・ 急変時に母親が慌てていたらかける何と言葉をかけたら良いか？</li> </ul>	

## (2) 同行訪問を主とした実践的な現場体験研修

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修希望がなかった。

	令和 2 年度
参加事業所	0
実人員 (職種内訳)	0
訪問延べ日数	0
訪問延べ件数	0

(3) 事業所運営相談の実施状況

件数	時期	職種	内容
9件	令和2年7月	訪問看護師	○在宅移行支援のための研修
	同上	同上	○新規事例への対応 保育園入園
	同上	同上	○利用者との距離の取り方
	令和2年8月	同上	○訪問看護ステーションの立ち上げ
	同上	相談支援専門員	○訪問看護導入について
	同上	訪問看護師	○往診医導入への助言
	令和2年10月	同上	○転入してくる新規事例への対応
	令和3年2月	相談支援専門員	○サービス利用について
	令和3年3月	訪問看護師	○訪問看護対応について

(4) 新規参入事業者の掘り起こし

業務連絡会、事業所運営相談、同行訪問等実施時に働きかけを行った。

(5) ホームページによる普及啓発

同行訪問等の研修に参加した看護師の感想文や業務連絡会についてのお知らせを「くれよん」ホームページに随時、掲載した。